

試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。

令和5年度 第7回しらかわ検定

1級 問題冊子

(問題数50問 試験時間50分)

注意事項

- 試験中は受験票、筆記用具、時計（通信機能のないもの）以外は全てかばん等にしまってください。
- 携帯電話はマナーモードにするか、電源をお切りください。
- 問題冊子は、19ページあります。印刷が不鮮明であったり、ページが不足していたりする場合や、解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて係員にお知らせください。ただし、問題に関する質問にはお答えできません。
- 問題は択一問題と記述式問題です。
 - 択一問題の解答は、解答用紙の1から4の数字のうち、正答と思われる番号一つに丸を付けてください。例えば【第1問】に対して「1」と解答する場合は、次の（例）のように解答用紙に丸を付けてください。

(例)

第1問	①	2	3	4
-----	---	---	---	---
 - 択一問題の解答で解答用紙に正しく丸が付けられていない場合や二つ以上に丸が付いている場合は、不正解とします。
 - 記述式問題の解答は、楷書で書いてください。漢字・ひらがなのいずれで解答してもかまいません。漢字の誤記は不正解とします。カタカナについては可能な場合もあるため、問題をよく読み解答ください。
- 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめ退室していただきます。
- 不明な点がある場合や、体調不良やトイレでやむを得ず席を立つ場合は、手を挙げて係員にお知らせください。

【第1問】

市内の旧石器時代の遺跡^{いせき}について、ある施設の造成中に偶然発見されました。
その施設は何ですか。

- ① 白河駅
- ② 福島県文化財センター白河館^{ふくしまけんぶんかざい しらかわかん}（まほろん）
- ③ 東風の台^{こち だい}総合運動公園
- ④ サンフレッシュ白河

【第2問】

市内の縄文時代の遺跡^{いせき}について、正しいものはどれですか。

- ① 東北・関東^{とうほく かんとう}地方の特徴を持つ土器も発見されており、地域間交流が行われていたと考えられている
- ② 発見されている遺跡の多くは、山が広がる市の北部や東部を中心に分布している
- ③ 下黒川^{しもくろかわ}遺跡は、大信地域に所在する遺跡である
- ④ 翡翠^{ひすい}や黒曜石^{こくようせき}などは出土していない

【第3問】

市内の遺跡と出土品^{しゅつどひん}の組み合わせとして間違っている^{まちが}ものはどれですか。

- ① 町屋^{まちや}遺跡 — 硬玉製大珠^{こうぎよくせいたいしゆ}
- ② 南堀切^{みなみほりきり}遺跡 — 琥珀製大珠^{こはく}
- ③ 滝ノ森B^{たきのもり}遺跡 — 人面付弥生土器^{じんめんつき}
- ④ 天王山^{てんのうやま}遺跡 — 金銅製馬具^{こんどうせいばぐ}

【第4問】

市内の古墳時代後期の前方後円墳では、東北地方最大規模とされる古墳はどれですか。

- ① 笹内古墳群 ② 谷地久保古墳
③ 下総塚古墳 ④ 野地久保古墳

【第5問】

古墳時代の白河について、次の文章の（ ）内に当てはまる語句は何ですか。

板橋地区に位置する大塚遺跡から、福島県では2例目となる珍しい埋葬方法である（ ）棺墓が発見されている。

【第6問】

奈良・平安時代の白河地方について、間違っているものはどれですか。

- ① 関和久官衙遺跡では、宿泊施設や食堂が存在していたことが確認された
② 白河関跡は、旗宿地内に存在している国指定史跡である
③ 発掘調査により、借宿廃寺跡は、飛鳥寺式伽藍を有する寺院であることが明らかとなった
④ 陸奥国白河郡に位置付けられ、その中心となった役所（郡衙）は泉崎村に置かれていた

【第7問】

次の文書の（ ）内に当てはまる数字はどれですか。

奈良・平安時代の白河郡は、（ ）の里（郷）が置かれており、その範囲は、現在の白河市、西白河郡、東白川郡、石川郡、茨城県大子町にまで及んでいた

- ① 7 ② 17 ③ 27 ④ 37

【第8問】

白河荘と白河結城家について、正しいものはどれですか。

- ① 下総国結城（茨城県結城市一帯）を治めていた結城時広が、先祖に位置付けられている
- ② 結城政朝は、南北朝時代に（南朝）の武将として戦功を挙げた
- ③ 白河荘に移住し、白河結城家の初代となったのは、結城朝光である
- ④ 白河結城家の居城であった白川城とは別に、小峰城を築いたのは結城親朝である

【第9問】

結城宗広について、次の文章の（ ）内に当てはまる語句は何ですか。

宗広の墓は、白河市の（ ）寺のほか、三重県伊勢市の光明寺と、津市の結城神社の3か所に存在している

【第10問】

中世白河の城館跡について、次の文章の（ ）内に当てはまる語句は

どれですか。

おもてごう かとうだ 表郷河東田にある（ ）館跡は社川左岸の独立丘陵に築かれた城で、

たなぐら 棚倉街道を見据える要所であった

- ① 富沢 ② 天王 ③ 新地山 ④ 高野

【第11問】

白川城跡に関して、間違っているものはどれですか。

① 広さは東西1.2km、南北約500～600mにわたり、白河地方で

最大規模を有している

② 14世紀ごろの中国青磁と考えられる陶磁器の破片が出土している

③ 近年の発掘調査により、南北朝から戦国時代にかけての変遷がわか

るようになった

④ 結城義親の活躍した元弘・建武年間（1331～1337）ごろに築

かれたと考えられている

【第12問】

中世に流行した石造物で、胎蔵界大日如来を表す種字(1字で仏を表す梵字)、その下に造られた年である建長8年(1256)の銘が刻まれた板碑があるのはどこですか。

- ① 大阿弥陀前
② 大信中新城
③ 大信下小屋
④ 大鹿島

【第13問】

次の文章の()内に当てはまるお寺はどれですか。

道場町にある時宗の寺院である()は、白河結城家とも深い関わりがあったとされており、市指定重要文化財の「木造阿弥陀如来立像」が残されている

- ① 小峰寺
② 大統寺
③ 龍蔵寺
④ 常宣寺

【第14問】

結城宗広・親光を顕彰する磨崖碑が白川城跡の北東部にあります。松平定信が揮毫した三文字の字は何と刻まれていますか。

【第15問】

中世の白河結城家について、正しいものはどれですか。

- ① 白河結城家と分家である佐竹氏の対立から永正の変が起こった
- ② 結城顕朝の時代が最盛期と考えられている
- ③ 結城親朝は、8つの郡・荘・保にまたがる検断職に任じられ、周辺に強い影響力を持っていた
- ④ 結城義親は、豊臣秀吉の小田原攻めに参加したことで、勢力をのばしていった

【第16問】

白河結城家に関する主な出来事について、間違っているものはどれですか。

- ① 結城祐広は、13世紀末ごろに白河荘に移住したと考えられている
- ② 建武3年（1336）結城宗広は、後醍醐天皇から、「公家の御宝」と賞賛された
- ③ 連歌師の飯尾宗祇は、白河を訪れ、結城直朝の連歌の会に参加した
- ④ 結城義綱・晴綱親子らは、妙閑寺に銅鐘を奉納した

【第17問】

白河藩^{しらかわはん}について、間違^{まちが}っているものはどれですか。

- ①地理的にも重要な位置にあった白河は、譜代大名^{ふだい}や徳川家^{とくがわけ}の一門大名（親藩^{しんぱん}）など、幕府から重視された場所だった
- ②寛永4年（1627）、会津^{かんえい}の蒲生家^{がもうけ}の領地没収とともに会津から独立し、白河藩が誕生した
- ③幕末までに7家28代の大名家が藩主を務めた
- ④白河藩^{しらかわはん}初代の大名家は、丹羽家^{にわけ}である

【第18問】

文政6年（1823）の「三方領地^{さんぼうりょうち}（知^ち）替^{がえ}」は、白河藩^{しらかわはん}と忍藩^{おしはん}、あと一つは何藩^{なにはん}ですか。

【第19問】

白河藩主^{しらかわはん}歴代^{にゅうほう}の入封^{にゅうほう}について正しいのはどれですか。

- ①丹羽長重^{にわながしげ}は、棚倉^{たなぐら}より入封した
- ②榊原^{さかきばら}（松平^{まつだいら}）忠次^{ただつぐ}は、二本松^{にほんまつ}より入封した
- ③本多忠義^{ほんただよし}は、宇都宮^{うつのみや}より入封した
- ④松平^{まつだいら}（奥平^{おくだいら}）忠弘^{ただひろ}は、姫路^{ひめじ}より入封した

【第20問】

こみねじょう
小峰城について、まちが
間違っているものはどれですか。

- ①に わながしげ
丹羽長重は、約4年をかけて小峰城の大改修を行った
- ②しらかわじょう おやぐら え ず
櫓・門・蔵など37の建物の図面である『白河城御櫓絵図』が残っ
ている
- ③くつきょく
門を通る道は、ほとんどが屈曲しており、敵の進入を防ぐような
つくりになっていた
- ④に の まる さんのまる し み ず も ん
二之丸・三之丸をつなぐ門は、清水門である

【第21問】

いしがき
小峰城の石垣について、下の文章の場所はどこですか。

「一部にふせいけい
不整形の石が残っており、初代白河藩主に わながしげ
丹羽長重以前の石積み
である可能性がある」

- ①おびくる わ
帯曲輪北面の石垣
- ②さんじゅうやぐら
三重櫓北面の石垣
- ③に の まる
二之丸東面の石垣
- ④たけのまる
竹之丸東面の石垣

【第22問】

市内の奥州街道について正しいのはどれですか。

- ① 陸奥国むつのかくにに入って、最初の宿場しゆくばとなるのは白坂宿しらかかしゆくである
- ② 会津街道との分岐点となる、田町たまちの追分おいわけがある
- ③ 役人などが白河に宿泊する際は、宿屋が多く立ちならんでいた中町なかまちの「本陣」ほんじん「脇本陣」わきほんじんが使われた
- ④ 幕府道中奉行ばくふどうちゆうぶぎようが管理するのは、小田川宿こたがわしゆくまでである

【第23問】

江戸初期の奥州街道について、間違っているのはどれですか。

- ① 白坂石阿弥陀しらかさいあみだに一里塚いちりづかが残されている
- ② 白坂芳野地区しらかさよしのちくから、道路の遺跡が発掘されている
- ③ 白川城しらかわじょうを通過して借宿廢寺跡かりやどはいじに通じていた
- ④ 丹羽長重にわながしげが小峰城の大改修を行った際に、奥州街道の付け替えも行われた

【第24問】

近世の街道について正しいものはどれですか。

- ①会津街道は、会津からは「白河街道」とも称され、大信の町屋地区には、
本陣や旅籠などが置かれていた
- ②奥州街道は、棚倉といわきを結ぶ道で、戊辰戦争時には、奥羽越列藩
同盟軍・新政府軍の双方の宿営にされた
- ③石川街道は、五箇地区、東地域を経て石川へ続く道で、御斎所街道とも
呼ばれている
- ④水戸街道は、表郷地域を南北に縦貫して、水戸に通じる道である

【第25問】

次の()に入る数字は何ですか。

白河藩での村内では、百姓が()人一組で「()人組」を組み、
互いに監視し、年貢を納める連帯責任を負っていた

- ①五 ②六 ③七 ④八

【第26問】

次の文章の（ ）に当てはまる語句はどれですか。

()陣屋は、越後高田藩の飛領を支配するために置かれたもので、奉行としてやってきた吉田林右衛門は、子どもを育てるための資金や生活が苦しい人などに資金を貸し与える政策を行った

①釜子

②小田川

③小野田

④社

【第27問】

旧暦3月15日に城下町で番場踊りを踊る年中行事を何とといいますか。

①嘉祥

②重陽

③村日待

④梅若忌

【第28問】

白河提灯まつりで、行列の先頭に立ち、神社神輿の警護や提灯行列の進行管理を行う先達となっている町内は何町ですか。

【第29問】

まつだいらさだのぶ
松平定信に関して、正しいものはどれですか。

- ① 50歳の時に、老中の首座に就任し、「寛政の改革」を行った
- ② 松平定邦の実子として、小峰城内で生まれた
- ③ 「天明の大飢饉」の際に、各地から米等を買集め、裕福な商家や農家から米や資金の寄付を募り、凶作の被害を最小限にとどめた
- ④ 絵画や和歌などに造詣が深く、白河だるまの意匠を考案した

【第30問】

まつだいらさだのぶ
松平定信も講義を行った寛政3年（1791）に会津町に設立した藩校を

何と言いますか。

【第31問】

まつだいらさだのぶ しらかわはんしゆ
松平定信が白河藩主時代に行ったことについて、まちが間違っているのはどれですか。

- ①伊丹から、酒杜さけとうじ氏を招き、小峰城下の藤屋ふじやという酒屋で「白錦」「関川」という酒を造らせたと伝えられている
- ②白坂しらかさ～須賀川すかがわの奥州街道おうしゅうかいどうの両側に土手きずを築いて松並木まつなみきを造ったことにはじまり、領地の各地しよくりんに植林を行った
- ③間引きまびの風習をやめさせる教化を図り、その際に使った絵図である
- 十六善神じゅうろくぜんしんの図が常宣寺じょうせんじに残されている
- ④白河関跡しらかわのせきの場所の考証こうしょうを行い、旗宿はたじゆくにあったと断定し、「古関蹟碑こかんせきひ」を建立こんりゆうした

【第32問】

しゅうこじっしゆ
「集古十種」とその内容について、正しいのはどれですか。

- ①収録されている古物こぶつは、白河市に関係したものだけである
- ②収録された内容は500点で、種別ごとに分類され10冊にまとめられている
- ③収録された古物の模写もしやには、大野文泉おおのぶんせんが携たずさわっている
- ④「集古十種」に収録させているものは、すべて現在においても本来の姿をみることができる

【第33問】

まつだいらさだのぶ ちくぞう ていえん
松平定信が築造した庭園について、(A) (B) に当てはまるのはどれですか。

まつだいらさだのぶ
松平定信は、白河と江戸に合計 (A) つの庭園を築造し、白河に最初に築造した庭園は (B) である

- ① A : 3 B : 三郭四園
② A : 4 B : 南湖
③ A : 5 B : 三郭四園
④ A : 6 B : 南湖

【第34問】

ほしん
戊辰戦争白河口の戦い関連の犠牲者の墓・慰霊碑について、あいづはん おおがきはん
会津藩・大垣藩・
ちょうしゅうはん おおひらはちろう
長州藩、庄屋の大平八郎の墓がある白坂の寺はどれですか。

- ① 正金寺 ② 観音寺 ③ 長伝寺 ④ 清光寺

【第35問】

いなり やま しらかわぐちふくそうさいよこやまち から しらかわぐち
稲荷山のふもとにある、白河口副総裁横山主税などをはじめ、白河口で戦死
あいづはん し しょうこん ひ
した会津藩士の名前が刻まれている「銷魂碑」の三字を書いたのは誰ですか。

- ① 松平 容保 ② 西郷 頼母 ③ 新島 八重 ④ 田辺 軍次

【第36問】

まつお ばしやう しらかわ どうちゆう
松尾芭蕉の白河の道中について、正しいのはどれですか。

- ① しらかわのせきあと はたじゆく
白河関跡を訪ねて、旗宿に一週間滞在した
- ② はたじゆく
旗宿から関山に登り、その後白河城下を訪ねている
- ③ みなもとのよしつね さんけい さいしやう じ
源義経が参詣したとされる最勝寺を訪れた
- ④ 知人のかうん
知人の何云を訪れ、しばし滞在した

【第37問】

() の空欄にあてはまるのは次のどれですか。

『そら ずいこうにつき』には、さがらとうきゆう さたん
『曽良随行日記』には、相楽等躬(乍憚)から聞いた白河の名所が5つ記
されており、そのなかの一つは、古くからのうたまくら しんちやま かりやど
を指す() が記されている。

- ① うたたねの森 ② おいわけ
追分の明神 ③ りゆうがいたて
竜害館 ④ 人忘れずの山

【第38問】

まつだいらさだのぶ どうはんが
松平定信に才能を見出され、銅版画を研究し、江戸の名所風俗を描いた
「銅板画とうとめいしよず えが
「銅板画東都名所図」を描いた人はだれですか。

- ① あ おうどうでんぜん
曲欧堂田善 ② ほしのぶんりやう
星野文良 ③ がもうらかん
蒲生羅漢 ④ たかくりゆうこ
高久隆古

【第39問】

旧大信村の生まれで、昭和13年(1938)『^{あつものざき}厚物咲』で^{あくたがわしょう}芥川賞を受賞、
厳しく自己と向かいあった姿から「^{ここう}孤高の文士」「^{ぶんし}最後の文士」と称された作
家は^{だれ}誰ですか。

【第40問】

下の文章の()内に当てはまる県はどれですか。

^{はいはんちけん}廃藩置県により発足した^{しらかわけん}白河県は、明治4年(1868)11月に

()^{とうごう}県に統合され、その後^{ふくしまけん}福島県に統合された。

① ^{たいら}平

② ^{わかまつ}若松

③ ^{にほんまつ}二本松

④ ^{いわさき}磐前

【第41問】

明治4年(1871)本町にある^{きゆうしらかわしゆくほんじん}旧白河宿本陣の建物に置かれた施設はど
れですか。

① 病院

② 郵便局

③ 銀行

④ ^{せいし}製糸工場

【第42問】

近現代の白河の交通について、間違っているものはどれですか。

- ① 白河しらかわに鉄道が開通したのは明治20年（1887）である
- ② 鉄道が開通したときの駅は、現在の白河市内には白河駅しらかわえきだけだった
- ③ 白河と棚倉を結ぶため白棚鉄道はくほうてつどう（白棚線はくほうせん）が、国有鉄道として開通した
- ④ 白河と石川を結ぶ予定だった磐城鉄道いわきてつどう（白石鉄道はくせき）は、開業いたに至らな
かった

【第43問】

明治33年（1900）に白河の有志により結成けっせいされた、史跡しせきの保護を活動の目的とする団体はどれですか。

- ① 白河史跡保全会しらかわしせきほぜんかい
- ② 南湖保護協会なんこほごきょうかい
- ③ 文化財保護審議会ぶんかざいほごしんぎかい
- ④ 白河保勝会しらかわほしょうかい

【第44問】

イコン学習のためにロシアに留学した、白河ハリストス正教会しらかわに作品がある茨城県いばらきけん出身の女性イコン画家は誰ですか。

【第45問】

きんげんだい
近現代における白河の文化について、まちが間違っているのはどれですか。

- ①かわさき
川崎プッペは、フランス人形作家として活躍した
- ②せきねしょうじ はせべえいち
洋画家の関根正二と長谷部英一は交流があった
- ③おもてごう ありがとらごろう
表郷出身の有賀帛五郎は写真家で、イギリスに留学して技術を学んだ
- ④たかはし ゆいち ちよう
高橋由一は「福島県道路風景画帖（三県道路完成記念帖）」において
白河の風景を写生した

【第46問】

しらかわまち おおぬまむら
白河町と大沼村が合併して白河市が発足したのは、いつですか。

- ①明治40年（1907） ②昭和24年（1949）
- ③昭和29年（1954） ④昭和30年（1955）

【第47問】

おもてごう
表郷小学校の北にある清水に生息する、日本ではこの地以外には確認され
ていないきしょう
希少植物で、会津で採取された標本と一緒にってしまったことで名
づけられた福島県指定のてんねんきねんぶつ
天然記念物は何ですか。（カタカナでの記述も可能）

【第48問】

明治14年（1881）年に明治天皇が東北を巡幸した時に、宿泊・休憩所として利用した場所はどれですか。

- ① 旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷
② 小峰城（本丸御殿）
③ 明治記念館（旧西白河郡役所）
④ 旧本陣芳賀家

【第49問】

現在も継承されている次の民俗行事はどれですか。

はやし言葉の「山神様」がなまったものと言われ、天道（太陽）の正常な運行と害虫の防除を念じて五穀豊穰を祈願する白河の代表的な天道念仏踊です

- ① 大竹の天道念仏（東上野出島大竹地区）
② 関辺のさんじもさ踊（関辺地区）
③ 中ノ沢権現梵天祭（表郷梁森地区）
④ 下新城の天王祭（大信下新城地区）

【第50問】

明治40年（1901）に白河地域の五箇村から釜子村に編入された村は何村ですか。